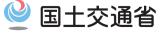
これまでの取組と 令和7年度の養成状況の詳細分析



これまでの取組み



- ・ 昨年6月の「航空整備士・操縦士の養成・確保に関する検討会」の中間報告を受け、航空局・航空会社との連携 によって早期養成に係る対策を順次実施。
- ・これにより、令和7年度は、宮崎における5月中旬から梅雨入りするなどの天候悪化の影響等を受けているものの、 これまでのところ、**令和6年度に比べて訓練カリキュラムに対する学生訓練時間は改善**

【主な取組例】

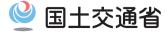
(1) 令和7年度当初から効果が発揮

- ・ 標準訓練時間の設定・教官の意識の向上 (標準訓練時間の設定等により教官の意識を向上させ、訓練1回当たり の飛行時間を増加)
- · 帯広分校の訓練機の増機 (12機(R6末) →15機(R7.8) に増機)
- ・ **訓練管理の強化**(訓練遅延状況の幹部への報告と対策の議論の実施に加え、訓練遅延の対策等の一覧表を作成し、その進 捗状況についてもあわせて議論)

(2) 令和7年度途中から効果が発揮

- 教官の稼働率の向上(任用訓練時間の短縮(操縦教育証明保有者の場合:6ヶ月→3ヶ月:R7年度以降適用))
- ・ 天候等を踏まえた訓練時間帯の変更(帯広空港における夏期の濃霧を避けるべく、午前中の飛行訓練開始時間を2時間 遅らせるなど※R7夏)
- **宮崎本校の訓練機の増機** (※15機(R7.8)→17機(R7.10に1機、R7年度末に1機)に増機)
- ・ 訓練カリキュラムの効率化(実機訓練時間:195時間(R6)→187時間(R7.7から順次適用しR8.8に全課程適用予定))

令和7年度の学生訓練時間の状況(令和7年8月末時点)

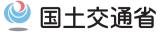


・ 令和7年度は、令和6年度に比して学生訓練時間は改善(昨年同期比(4~8月)で17%増)

単位:時間

		帯広飛	行課程	宮崎飛	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	仙台飛	· 行課程 		+
		R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7
4	.月	343	630	617	772	585	585	1546	1988
5	月	628	788	612	633	304	485	1545	1907
6	月	561	795	448	603	372	405	1382	1804
7	'月	349	505	787	658	583	325	1719	1489
8	月	187	461	513	729	420	211	1120	1402
合計(4	4~8月)	2069	3181	2978	3396	2265	2014	7314	8592
増減の	内訳	+54	4%	+1	4%	-1	1%	+17	7%
	学生訓練時 R6年度比			練計画機数 計画した延べ機	数	運船 実際に運航		1回;	あたり飛行時間
帯広	54%増		2	25%增	×	109	%増	×	12%增
宮崎	14%増			6%増	×	3%	ó増	×	5%増
仙台	11%減	=		21%減	×	4%	ó増	×	8%增
合計	17%増	=		5%増	×	3%増		×	8%増
→ 100名	規模の養成に	 は、学生訓	練時間 <u>23</u>	<u>%増</u> が必要	 (令和 6 年度	比)		<u> </u>	

詳細分析



	訓練計画機数	運航率	1回あたりの飛行時間
帯広	25%増	10%増	12%増
	訓練機の増機(12機(R6.4)→15機(R7.8))、 教官任用の効率化(14名(R6.7) →17名 (R7.4))、訓練管理の強化	天候率向上 →夏期の訓練時間変更による今後の 運航率向上を目指す。	標準飛行時間の設定等
宮崎	6%増	3%増	5 % 増
	訓練管理の強化 →今後、訓練機の増機(R7.10,R7年度末) や任用訓練時間の短縮(稼働教官が R7.4:15名⇒R7.12:18名以上)等により 改善見込み	天候率の影響だが、令和7年5月中旬からの梅雨入りの影響等により、運航率は微増	標準飛行時間の設定等
仙台	2 1 %減	4 % 増	8%增
	訓練管理の強化等で6月末までは4%増加したものの、5月中旬からの梅雨入り等による宮崎の訓練遅延の影響で、7~8月が1クラスに留まった。	天候率向上	標準飛行時間の設定等
	→ <u>9月途中から2クラス化しており、</u> <u>今後改善見込み</u>		

- ・従前の取組により令和7年度は大幅に改善されていたが、宮崎の訓練遅れにより仙台の訓練計画数が減少し全体に影響
- ・9月途中から**仙台は2クラス化**しており、現時点では**令和7年度中に100名規模(計4クラス)が卒業見込み**
- ・ 8年度以降は訓練カリキュラムの効率化の効果によって必要な学生訓練時間が下がり、養成の安定性は増す見込み